

JEITA 国際戦略・標準化セミナー

— つながる社会を実現するCPS/IoTソリューションと標準化 —

社会にあるさまざまなモノがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) で得られる多くの情報をサイバー空間で解析し、その結果に基づいて現実社会へ働きかけるCPS (Cyber Physical System) によって、新たな価値が生み出されます。モノがインターネットにつながる部分やサイバー空間で扱われる情報の形式を標準化することでつながる社会を実現でき、生み出された新たな価値を広めることができます。

本セミナーでは、東京電機大学 安田浩学長に基調講演頂き、続いてJEITAと関わり深いヘルスケア、モビリティ、製造の各分野におけるCPS/IoTソリューションの事例とその普及に向けた標準化活動への取り組みや期待を、専門家の方々にご講演頂きます。是非聴講頂き、各社の事業戦略・標準化戦略の立案に役立てて頂ければ幸いです。

日 時 : 平成28年10月7日 (金) 12:30~14:30

場 所 : 幕張メッセ国際会議場 301会議室 (3階)

千葉市美浜区中瀬2-1 地図 <http://www.ceatec.com/ja/access/>

主 催 : 一般社団法人電子情報技術産業協会 標準化政策委員会/国際標準化戦略研究会

定 員 : 200名 (定員になり次第、締め切ります)

参加費 : 無料 (ただし、事前申し込み制となります)

申込方法 : 「CEATEC JAPAN 2016」のサイトからお申し込みください。

<http://www.ceatec.com/ja/conference/>

事務局 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階

一般社団法人電子情報技術産業協会 知的基盤部 TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078

Program

司会 小川 雅晴 国際標準化戦略研究会 主査 (三菱電機株式会社 開発本部 開発業務部 主管技師長)

12:30~12:40	来賓挨拶 畠山 孝氏 経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 課長補佐	
12:40~13:10	基調講演 「ICT時代の国際標準化」 安田 浩氏 東京電機大学 学長	Webとサイバー空間が社会・産業活動の基盤となり、グローバルな活動がますます盛んになってきています。このような体制の中でICTは重要な役割を果たすようになり、国際標準化もさらに進化しなければならない状況となっています。本講演では、社会・産業活動の新潮流を示し、このような時代の国際標準化の役割とは何かを考え、国際標準化が特に重要な分野に焦点をあてて、今後の方向性・重要な視点等について解説します。
13:10~13:35	ヘルスケア分野におけるIoT利活用の動向 木暮 祐一氏 青森公立大学 経営経済学部地域みらい学科 准教授 ITヘルスケア学会 理事	将来、私たちに最も身近なIoTとなりえるのが、日常生活における健康状態やライフログの収集などを目的としたヘルスケア分野での利活用でしょう。わが国ではスポーツ分野からウェアラブルデバイスの利活用などが進められていますが、一昨年の薬事法改正、そして昨年12月施行の改正労働安全衛生法など、ヘルスケアIoTの利活用に大きなビジネスチャンスが到来する可能性があります。こうした最新動向を解説します。
13:35~14:00	自動運転用高度化地図データエコシステムの標準化推進 小川 和也氏 バイオニア株式会社 自動運転事業開発部 戦略統括部長	昨今、自動運転の議論が盛んに行われています。自動運転車が一般道まで普及することを想定した場合、精細な地図と3D-LiDARセンサーが必須になるといわれています。しかし、その地図の整備・更新は、従来の手法のみでは非常にコスト及び時間がかかります。そこで、自動運転車両センサーが収集するデータを利用した地図整備・更新の仕組みを標準化することにより、大幅なコスト削減を実現し、一般道自動運転時代の早期実現を推進します。最新動向について解説します。
14:00~14:25	スマートマニュファクチャリング標準化戦略 加納 誠介氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所 製造技術研究部門 副研究部門長	IEC、ISO、ドイツ、アメリカでは、スマートマニュファクチャリングに関して、既存標準の分析や、標準化の方法論について、活発に議論が行われています。スマートマニュファクチャリングを進めるには、製造機器を制御するための通信システムの構築だけでなく、機器と管理のシステム間の双方向情報共有の仕組みが必要であり、特定の工程やラインや工場内で閉じていたシステムを工場間や企業間に広げるには、ルールが必要です。このためには機器からの情報を流せることがポイントとなります。こうした一連の最新動向について解説します。
14:30	閉会	

プログラムの内容につきましては、都合により変更となる場合がございますので、予めご了承ください。